

変身タイム

「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

伊達政宗の「黒漆五枚胴具足」と「山形文様陣羽織」(どちらも重要文化財・当館所蔵)の複製(体験資料)を着て変身してみませんか? 政宗になりきってみましょう!



▲「黒漆五枚胴具足」と「山形文様陣羽織」の複製

日時 5月17日(土) ①13:30~13:50 / ②13:50~14:10 / ③14:10~14:30 / ④14:30~14:50 / ⑤14:50~15:10

※上記いずれかにご参加いただけます。時間帯はこちらで指定させていただきます。※常設展観覧券が必要です。

会場 仙台市博物館 2階プレイミュージアム

定員 5名(各回1名)

対象 どなたでも

※よろいの大きさや重さは実物資料とほぼ同じため、年齢や身長等により安全のため着用できない場合があります。※政宗の身長は159.4cmです。

応募期間 3月18日(火)~4月18日(金) ※ホームページは17時まで

申込方法 ホームページからご応募いただくか、1名様につき1枚の往復はがきに、イベント名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・小学生の場合は学年を明記し、下記までお申し込みください(当日消印有効)。※配慮が必要な場合は、その内容をあらかじめお知らせください。(例:手話通訳希望、車椅子での参加希望など) ※応募多数の場合は抽選となります。



〈あて先〉 〒980-0862 仙台市青葉区川内26 仙台市博物館「変身タイム係」

ホームページからの応募はこちら



仙台市 博物館 だより

vol. 216

2025.4月 2025.6月

企画展 「新収蔵品展 2017-2024」で展示します。会期は中面の企画展情報をご覧ください。

表紙の資料

春秋花鳥図屏風 遠藤速雄筆

仙台市博物館蔵

〔大きさ(本紙):右扇 縦93.2cm×横49.5cm 左扇 縦92.7cm×横49.5cm〕



仙台にゆかりが深い画家・遠藤速雄(1866~1915)の花鳥図です。右扇には山桜と2羽の雀、左扇には紅葉した鳥の陰で憩う鶉と、それぞれ春と秋の景色が描かれています。墨や色彩の濃淡によって陰影をつけ、画面に深みを持たせています。



仙台市博物館友の会 令和7年度会員募集中

「仙台市博物館友の会」は、会員の歴史・美術・文化に対する教養を高め、相互の親睦を図りながら博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする会です。

会員になると特別展(年度内に2回まで無料、3回目以降は観覧料の半額)・企画展・常設展をご覧いただけるほか、友の会だよりや博物館のお知らせなどがお手元に届きます。

会費(年額) 普通会員3,500円 / 学生会員2,000円 賛助会員5,000円

※令和7年度より、普通会員の会費が3,000円から3,500円に値上げされます。

〈お申込み〉

郵便振替口座 02200-6-31272 仙台市博物館友の会

振替用紙の「払込人住所氏名・通信欄」に住所・氏名・職業・年齢・電話番号・会員の種別(普通会員・学生会員・賛助会員)及び新規入会希望の旨をご記入ください。

※4/1以降は、仙台市博物館2階ミュージアムショップでも入会を受け付けています。(事務手数料として、別途220円がかかります)

博物館利用案内(4月~6月)

開館時間 9:00~16:45(入館は16:15まで)

休館日 毎週月曜日(4/28、5/5は開館)、5/7(水)

常設展 観覧料

- 一般・大学生 460円(360円) ●高校生 230円(180円) ●小・中学生 110円(90円)

※駐車場には限りがあります。ご来館の際は公共交通機関のご利用にご協力ください。

※()は30名以上の団体料金。※このほか各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。

- アクセスマルチ仙台(仙台市営バス)ご利用の場合 「国際センター駅」下車、南1出口より徒歩約8分
- 仙台市地下鉄東西線ご利用の場合 「国際センター駅」下車、南1出口より徒歩約8分
- るーぶる仙台(仙台市営バス)ご利用の場合 「博物館・国際センター・緑彩館前」下車、徒歩約3分



仙台市博物館 イベントの開催など最新の情報をホームページでお知らせしています。

TEL 022-225-3074 (情報資料センター) FAX 022-225-2558 9:00-16:45 ※休館日を除く

※感染拡大状況等により、イベントが中止等になる場合があります。 ※再生紙を使用しています。この印刷物はリサイクルできます。





新収蔵品展

2017-2024

会期 3.22(土)
5.11(日)

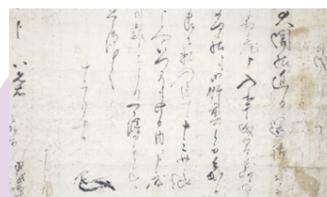
仙台市博物館では、博物館活動の大きな柱の一つとして、仙台を中心とする地域の歴史・美術・文化に関する資料の収集を継続的に行ってきました。昭和36年(1961)の開館当時1万3千点だった収蔵資料は、有志の方々からの寄贈などによって、現在では10万点に達しました。

この展覧会では、平成29年(2017)に開催した新収蔵品展「伊達な優品勢ぞろい PARTII」以降に収集した古文書や絵図、絵画や刀剣などの資料、およそ100点を展示します。新たに仙台市博物館の仲間となったさまざまな収蔵品をお楽しみください。

会期: 3月22日(土)～5月11日(日) ※休館日: 毎週月曜日(4/28、5/5は開館)、5/7(水)
観覧料: 常設展料金[一般・大学生 460円(360円)、高校生 230円(180円)、小・中学生 110円(90円)]
※()内は30名以上の団体料金。

担当学芸員の

おすすめ資料



伊達政宗書状 八嶋久右衛門増行宛
通期展示



脇差
銘「長曾祢虎徹入道興里」
通期展示

菊唐草文扉板
(伝仙台城本丸扉遺品)
通期展示



仙台下絵図
文政3～4年頃
通期展示

紅糸威五枚胴具足
展示期間:
3/22～4/13



企画展情報は
こちら

各種割引、ご利用方法など、詳しくは企画展「新収蔵品展 2017-2024」チラシや博物館のホームページをご覧ください。



予告

仙台宇和島歴史姉妹都市締結50周年記念特別展

伊達を継ぐもの(仮)

仙台伊達家は江戸時代を通じて仙台藩62万石を維持しましたが、御家騒動や藩主の夭折など、何度も困難に見舞われました。そんな時に仙台藩を救ったのは、仙台伊達家と縁続きの親戚大名でした。

この展覧会では、仙台藩初代藩主である伊達政宗の長男・秀宗が初代となった「西国の伊達」宇和島藩をはじめとして、仙台伊達家の息子が跡を継いだ藩に注目し、仙台伊達家との縁や仙台藩を救い、次世代へと繋いでいったようすを紹介します。

会期: 7/4(金)～8/24(日)
会期中の休館日: 毎週月曜日(7/21、8/11は開館)、7/22(火)、8/12(火)



2025年 春の常設展 3/11～6/15

3月11日(火)～6月15日(日)まで、「2025年 春の常設展」を開催します。この期間限定の実物資料をぜひご覧ください。4月22日(火)から、コレクション展示室IIでは、仙台四大画家の一人である小池曲江の作品を特集します。その他、各展示室のテーマは仙台市博物館ホームページをご覧ください。



収蔵資料
データベースは
こちら



常設展情報は
こちら

Q 常設展示は
なぜ3ヵ月で
展示が替わるの?

A 常設展では、各展示室・コーナーごとに実物資料(本物)を展示しています。実物資料は資料保存のため、展示期間を限る必要があり、約3ヵ月(資料によっては、より短い期間)で入れ替えています。



担当学芸員 ピックアップ資料!!

「今から400年前の東西文化交流の証し」



ユネスコ「世界の記憶」・国宝
ローマ市公民権証書 1615年
テーマ展示室II
(展示期間: 4/22～6/22)

支倉常長にローマ市の市民権を与え、貴族に列すると記した証明書です。ローマ市議会が発行・授与し、支倉が仙台へ持ち帰りました。支倉の海外での足跡を証明する、世界的に価値の高い歴史資料です。

「塩竈出身の画家・小池曲江の傑作」



孔雀図 小池曲江筆 寛政6年(1794)
コレクション展示室II
(展示期間: 4/22～6/22)

海棠の木の周りで翹る雌雄の孔雀が、墨を主体にして描かれています。孔雀の羽一枚一枚が、墨の濃淡や線の太さを変えながら、巧みに表されています。

「伊達政宗の陣羽織」



重要文化財
山形文様陣羽織
伊達政宗所用 桃山時代
(伊達家寄贈文化財)
テーマ展示室I
(展示期間: 5/13～6/8)

黒と赤の対比が印象的で、金色に鈍く光るモールド飾られた幾何学的な文様の陣羽織です。桃山時代には、それまでにはなかったような大胆なデザインの服が流行しました。

プレミュージアムで
博物館をもっと楽しもう

このかぶとは、本物と同じ重さで作られているんだって。実際に、かぶって写真を取っている人もたくさんいるよ。



まーくん・めぐちゃんによる博物館紹介

プレミュージアムは「博物館を存分に楽しんでほしい」という思いが込められた展示室です。室内には、昔のおもちゃや道具、資料の複製があり、いつでも手に取り体験することができます。この部屋で過ごした時間と体験が、博物館や歴史・文化に興味をもつきっかけになればうれしいです。今回は、この展示室からおすそめを2つ紹介します。



黒漆五枚胴具足のかぶと(複製)



天井のアイ・トリックをみる足型

足型の上に立って、見上げたら、ビックリ! 何が見えるかは楽しみに…。みんなにも見に来てほしいな。

